

令和元年第2回定例会一般質問 会議録（抜粋・概略）

令和元年6月26日

6 まちごと・丸ごと防災体制の実現に向けて

(1) 教育委員会の取り組みについて

○松本議員

～略～

次にまちごと・丸ごと防災体制の実現に向けてですが、教育委員会としてしっかりと防災に取り組むことが求められています。なぜなら災害発生時に子ども達を守るのは家庭、地域、そして学校であり、平時から連携することが重要です。

改めて大阪北部地震ではどのような対応を取られたのかお聞かせ下さい。

～略～

○嶋野議長

教育次長

○北野教育次長

大阪北部地震時の対応についてのご質問にお答えいたします。

大阪北部地震では、市内の様々な施設と同様に、本市の小中学校施設も大きな被害を受けました。

教育委員会といたしましては、地震発生直後から、小中学校と連携して、児童生徒の安全確保を最優先に、学校施設及び通学路の緊急点検を実施いたしました。

その中で、ただちに全教育施設のブロック塀点検を行い、危険度の高いものについては発災後7週間以内に撤去工事を行いました。

また、児童・生徒は小中学校とも保護者に学校にお迎えにきて頂き、下校をさせました。一部、すぐにお迎えに来ていただけなかった方は、午後お迎えにきて頂くまで、学校で児童・生徒を見守ることはありましたが、引き渡し訓練を行っていなかった中学生も含め、概ね円滑に引き渡すことができました。

～略～

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

～略～

次にまちごと・丸ごと防災体制の実現に向けての教育委員会の取り組みについてです

が、地震対応はしっかり行ったと理解しました。

今後、教育委員会の取組みは、自助・共助・公助の強化とそれをつなぐ有機的ネットワーク構築に寄与するよう一層の工夫が必要です。例えば防災教育を保護者の対応向上も含め、自助強化につながる家庭防災の充実に活用すべきですが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長
教育次長

○北野教育次長

自助強化につながる家庭防災の充実に係る防災教育の活用についてのご質問にお答えいたします。

これまでの各学校の防災教育の多くは、座学が中心であり、知識として災害を学ぶことが多く、家庭や地域の方々と関わりながら行う実践的な学びには至っていない状況がございます。

しかし、児童生徒の生活実態を考えますと、学校よりむしろ、家庭や地域で過ごす時間が長いことから、今後は各校で行われている防災教育の内容をもとにご家庭で発災時の行動等について話題として頂くとともに、地域で行われている避難所訓練などへの参加、防災について保護者とともに考えていく機会、これを増やす必要があると考えております。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

必要性について理解しました。是非ですね、防災を意識する少ない機会を最大限活かせる防災教育を要望致します。

また、本市の学校は公的避難所に指定されており、学校の協力が欠かせないことは言うまでもありません。先月の委員会視察先の熊本県宇土市では熊本地震対応で、円滑な避難所運営に市職員だけでは人手が足りませんでした。

そこで休校期間中だけでも可能な範囲で教員が避難所運営に係ることが必要かと思いますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長
教育次長

○北野教育次長

教員の避難所運営への参画についてのご質問にお答えいたします。

教育委員会といたしましては、府教育庁に、有事の際に府費負担教職員が学校再開まで、避難所運営に協力することの必要性について説明し、理解を得たところでございます。

今後は、教職員の時間外勤務に対する処遇など、課題について検討してまいります。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

是非検討して頂くよう、学校教育は多くのカリキュラムがあり、教員も大変であると理解しますが、可能な限り防災に協力することが、子どもたちの命、その保護者の命を守ることに貢献すると思います。

最後に、教育長にまちごと・丸ごと防災体制を実現するために、教育委員会として、今後どうあるべきか、お考えをお聞かせ下さい。

○嶋野議長
教育長

○箸尾谷教育長

教育委員会として考える、まちごと・丸ごと防災体制は、やはり、今、答弁申し上げましたように、各学校で行われております防災教育の取り組みと、地域の防災の取り組みを結びつけることで実現するものだと考えております。

現在、各学校におきましては、これまでの防災教育の取り組みに加えまして、先日の防災サミットでも報告がありましたように、東日本大震災やこれまでの災害を教訓とした新たな視点を取り入れた実践的な防災教育の取り組みを進めております。

またさきほど、議員からもご指摘ありましたけども学校の教職員の協力につきましても教育委員会といたしましては、発災時に必要に応じて学校の再開までの避難所運営について、学校施設を熟知しております教職員が協力する体制づくりを只今、進めているところでございます。

今後はこのような学校・教育委員会の取り組みと地域での取り組みを結び付けまして、まちごと・丸ごと防災体制構築できますように、関係各課と連携して取り組みを進めて参りたいと思います。

○嶋野議長
松本議員。

○松本議員

ありがとうございます。是非ですね、教育委員会として、まちごと・丸ごと防災体制

の実現に向けてオール摂津の役割をしっかりと果たし、防災にしっかりと取り組まれるよう要望致します。